

令和6年2月15日

環境経営レポート

吉永商店

レポート対象期間 令和5年1月～令和5年12月



I. 環境方針	P-1
II. 事業活動の規模	P-2 P-3
III. エコアクション21 推進組織図	P-4
IV. 環境目標とその実績	P-5
V. 環境活動の取組計画と評価	P-6
VI. 環境関連法規制の遵守	P-7
VII. 代表者による全体評価と見直しの結果	P-7

I．環境経営方針

＜ 基本理念 ＞

吉永商店は、廃棄物の収集運搬業者として、深刻化する環境問題を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、環境に配慮した収集、運搬業務に心がけ、地球環境の保全及び地域社会への貢献を目指すべく、以下の通り環境方針を定めます。

＜ 基本方針 ＞

- 1．事業活動において関係する法令、規制を守り業務にあたります。
- 2．エコドライブによる環境負荷への低減の為、アイドリングストップ及び収集ルート効率化を図り、CO2 排出を抑制します。
- 3．近隣地域の廃品回収に積極的に取り組み、地域社会の向上に協力します。
- 4．収集運搬業者としての社会的・環境的位置づけを再確認した上で、事業者から出る廃棄物量の抑制の指導や、リサイクル化への提案をしていきます。
- 5．環境保全に関する目的・目標を設定し、取組結果を点検・評価することにより環境マネジメントシステムの継続的改善につなげていきます。
- 6．環境理念・方針を積極的に開示し、地域社会とのコミュニケーションをはかり信頼構築に努めます。

～ この環境方針は、社内外に公表します ～

2022年 1月20日

吉永商店
代表取締役 吉永 茂

Ⅱ．事業活動の規模

事業者及び代表者名

吉永商店

代表取締役社長 吉永 茂

1. 所在地

〒374-0024 群馬県館林市本町3-7-39

TEL 0276-72-4312

FAX 0276-72-7250

2. 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者： 吉永 浩和

3. 事業の内容

【総合資源回収業】

【一般廃棄物収集運搬業】

館林市 第813号

許可年月日 令和4年10月1日

許可の有効年月日 令和6年9月30日

【産業廃棄物収集運搬業】

群馬県 許可番号 01000047105

許可年月日 令和4年4月10日

許可の有効年月日 令和9年4月9日

事業の範囲 ①汚泥、②廃プラスチック類、③木くず、④金属くず、
⑤ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず

4. 事業の規模

売上高区分 A (5億円未満)

敷地面積 1151㎡

従業員数 4人

車 両 : 4t パッカー車 1台 4t 平ボディ 1台
2tトラック 1台 1,5tトラック 1台
7t クレーン 1台

5. 処理実績

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量t
収集運搬	木くず		3.00
再生資源	非鉄		12.00
	アルミ		9.00
	ステンレス		35.00
	鉄		298.00
	新聞		64.00
	ダンボール		377.00
	廃油		0.00
	燃え殻		0.00
	廃酸		0.00
収集運搬量合計			798.00

＊一般廃棄物の収集運搬量は 10.2 t であった。

6. 廃棄物処理料金

形状・条件により異なりますので、その都度お見積もりいたします。

Ⅲ. E A 2 1 推進体制

職 名	役 割
吉永 茂	最高責任者。環境方針を制定し、システムの見直しを行う。
吉永浩和	環境管理責任者。環境委員会を運営する。 構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
吉永浩和	事務局（環境管理責任者補佐）
環境委員会	環境管理責任者が半年に一度招集して開催する。 最高責任者、環境管理責任者が出席する。

IV. 環境経営目標とその実績

当社に於ける令和4年度(令和4/1/1～令和4/12/31)の環境負荷実績を把握し、令和5年度から令和7年度までの目標を下記のとおり定め活動を開始した。

1. 主要な環境目標と環境負荷・実績

環境目的項目	管理実施項目	単位	令和4年度	令和5年度		令和6年度	令和7年度
			実績 (基準年)	目標 (1%減)	実績	目標 (2%減)	目標 (3%減)
二酸化炭素排出量の削減	電力の削減	kwh/運搬量	1.7	1.68	2.1 (23.5%増)	1.67	1.65
	ガソリン使用の削減	ℓ/運搬量	1.4	1.39	1.64 (17.1%増)	1.37	1.36
	軽油使用の削減	ℓ/運搬量	4.76	4.71	5.39 (13.2%増)	4.66	4.62
	二酸化炭素排出量	kg/運搬量	16.5	16.3	18.8 (13.9%増)	16.2	16
廃棄物の削減	主に一般ゴミ	kg	12	前年度維持	12 (0%)	前年度維持	前年度維持
総排水量の削減	水使用量	m3	11	前年度維持	10 (9.1%減)	前年度維持	前年度維持

※二酸化炭素排出係数は、東京電力 0.531kg/kwh を使用して算出しています。また排出量は 15,033 kgでした。

※地域社会の貢献については廃品回収活動への協力として 32 件行った。

2. 主要な環境負荷の過去の実績

環境目的項目	管理実施項目	単位	令和3 年度 実績	令和4 年度 実績	令和5 年度 実績
二酸化炭素排出量の削減	電力の削減	kwh/運搬量	1.73	1.7	2.1
	ガソリン使用の削減	ℓ/運搬量	1.36	1.4	1.64
	軽油使用の削減	ℓ/運搬量	4.68	4.76	5.39
	二酸化炭素排出量	kg/運搬量	16.5	16.2	18.8
廃棄物の削減	主に一般ゴミ	kg	12	12	12
総排水量の削減	水使用量	m3	10	11	10

V. 環境活動の取組と評価、次年度の取組

取組計画	評価
① 二酸化炭素排出量の削減 令和4年度の実績に対して 令和5年度に1%削減する。 『目標達成手段』 1. 電力の削減 ・空調温度適正化・表示確認 ・照明・PC電源不要時のOFFの推進 ・アイドリングストップ推進 ・社用車の点検・整備 ・原因分析と削減方法の確認 ・電力、ガソリン量の集計 2. 自動車燃料使用の削減 定期的な整備の実施 エコドライブの実施	13.9%増加した。 実施状況【△】 引き続き心掛ける。 23.5%増加した。 実施状況【△】 軽油 13.2%増加した。 実施状況【△】 ガソリン 17.1%増加した。 ・次年度も引き続きエコドライブなどを続ける。 ・運搬ルートを検討と効率化の推進
② 廃棄物の削減 令和4年度の実績に対して 令和5年度に1%削減する。 ・分別ルールの徹底 ・廃棄物置き場の整備 ・排出業者と契約書の確認 ・マニフェストの管理方法の確認 ・裏紙使用ルールの徹底 ・原因分析と削減方法の検討	裏紙使用を徹底した結果、 現状維持を達成した。 実施状況【○】 次年度も継続する。
③ 排水量の削減 令和4年度の実績に対して 令和5年度に現状維持する。 ・毎月のメーターを確認する ・節水表示確認 ・増量ノズルへの交換 ・トイレの節水 ・原因分析と削減方法の検討	9.1%減少した。 実施状況【○】 目標の現状維持を達成した。 次年度も継続する。

VI. 環境関連法規制の遵守状況

(1) 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守状況
・廃棄物の処理及び清掃に関する法律	遵法
・貨物自動車運送事業法	遵法
・自動車から排出される窒素酸化物の特定地域 における総量の削減等に関する特別処置法	遵法
・廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行例	遵法
・廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則(一般廃棄物)	遵法
・廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則(産業廃棄物)	遵法
・騒音規制法・振動規制法	遵法

(2) 違反については自社関係の違反はありません

環境関連法規制の遵守評価をした結果、遵守しておりました。

また、関係機関等からの指摘は過去 3 年間無く、訴訟も同様にありませんでした。

VII, 代表者の全体評価と見直しの結果

本年も新型コロナウイルスと、半導体不足の多少影響を受けた形になった。

廃品回収は徐々に減少するようになってきた。

これからも引続き取組んでいく。